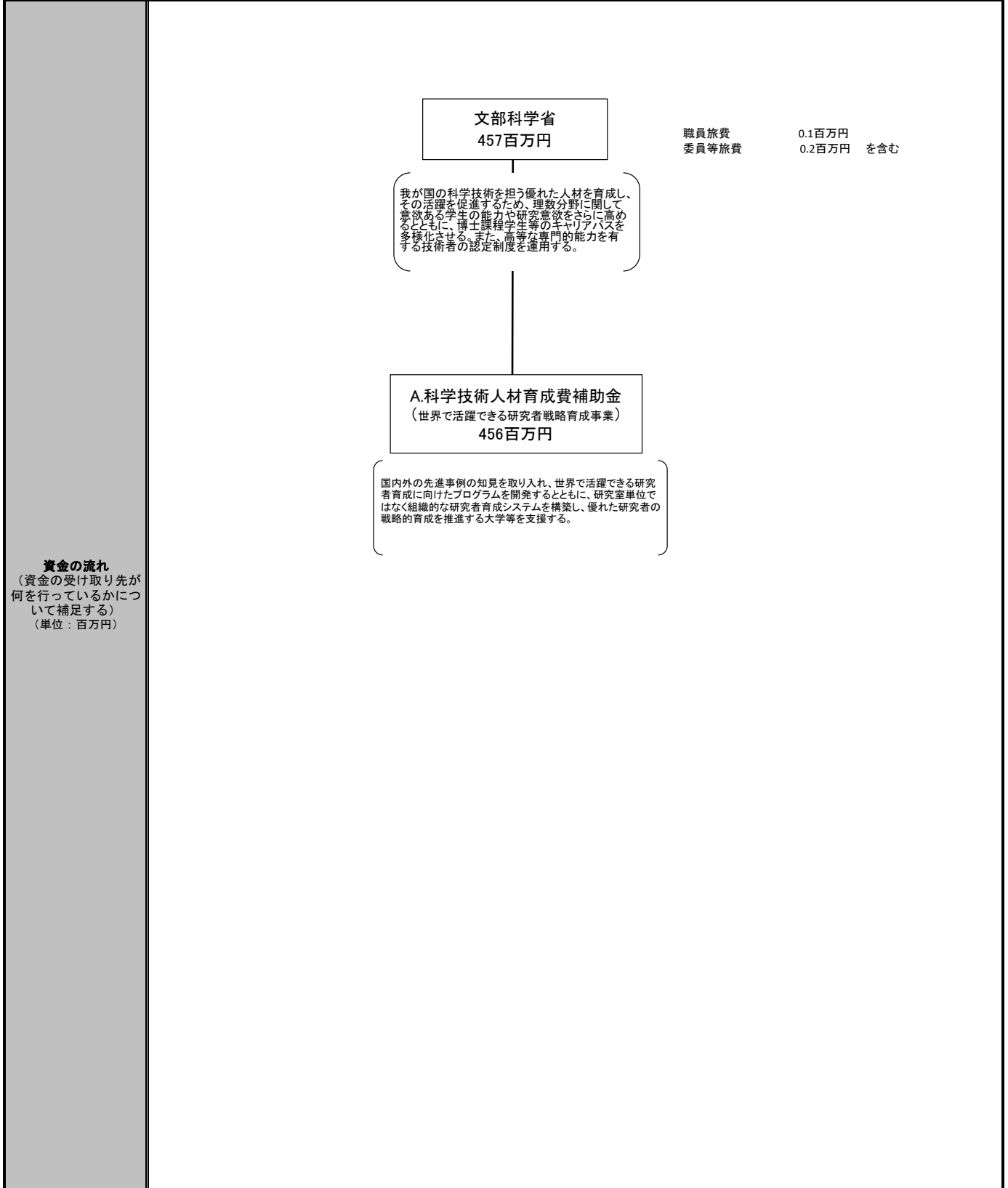


令和5年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )							
事業名	世界で活躍できる研究者戦略育成事業			担当部局庁	科学技術・学術政策局	作成責任者	
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課	人材政策課長 生田知子	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～フォローアップ(令和4年6月閣議決定)</li> <li>・統合イノベーション戦略2022(令和4年6月閣議決定)</li> <li>・第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)</li> </ul>		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-1 科学技術・イノベーションを担う人材力の強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	我が国の研究開発力や国際プレゼンスを強化するために、産学の域を超え世界で活躍できる研究人材の輩出を図り、研究者の更なる研究力向上に資する育成プログラムの開発や組織的な研究者育成システムの構築を行うこと。						
現状・課題 (5行程度以内)	<p>論文数に関する我が国の国際的地位が質的・量的ともに低下してきている中(※)、人口減少局面にある我が国が研究力の強化を図るためには、研究者の研究生産性の向上を図ることが必要である。</p> <p>(※)国・地域別論文数における日本の順位の推移(1998-2000年の平均→2018-2020年の平均)(いずれも分数カウント)</p> <p>論文数: 2位→5位, Top10%論文数: 4位→12位, Top1%論文数: 4位→10位(出典: 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2022」)</p>						
事業概要 (5行程度以内)	国内外の先進事例の知見を取り入れ、世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発するとともに、研究室単位ではなく組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する大学等を支援する。また、より効果的なプログラムを開発するため、各機関へのフィードバックを行う委員会を設置し不断の改善を図るとともに、各機関の知見の集約・分析を行い、我が国の研究者育成プログラムの標準モデルや共通メニューの開発を行い、学会や大学団体等とも連携し、開発されたプログラムの普及・拡大に繋げる。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/sekaidekatsuyaku/index.htm						
実施方法	補助						
補助率等	補助対象: 大学、研究開発法人等 補助上限額: 70百万円程度/機関・年						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	314	344	344	344	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
	前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
	翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	
予備費等(E)	-	34	113	-	-		
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	314	378	457	344	-		
執行額(G)	286	378	457	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	91%	100%	100%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	91%	110%	133%	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費					
	(目)	科学技術人材育成費補助金	340				
	(目)	職員旅費	3				
	(目)	委員等旅費	0.3				
	(目)	庁費	0.1				
	(目)	諸謝金	0.1				
		その他	0	-			
	計(A)	344	-				

活動内容① (アクティビティ)		国内の研究者育成の優良事例に海外の先進事例の知見を取り入れ、世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、世界のトップジャーナルへの論文掲載や海外の研究費獲得等に向けた支援体制など、研究者の研究力向上に資する取り組みを、研究室単位ではなく組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する大学・研究機関を支援する。また、各機関の知見を集約・分析し、我が国の研究者育成プログラムの標準モデルや共通メニューの開発を行い、質保証されたプログラムの普及・拡大に繋げる。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究者の研究力向上に資する育成プログラムの開発を進める	実施機関・連携機関において、研究者の研究力向上が見込まれる育成プログラムのコンテンツの数	活動実績	コンテンツ	-	-	110	-	-
				当初見込み	コンテンツ	-	-	-	110	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		本事業において開発された研究者育成プログラムの質が向上することで、実施機関内での認知が高まり受講者数が増加する。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		実施機関における研究者育成プログラムの利活用が拡大する。	本事業において開発された研究者育成プログラムの受講者数が毎年増加する。 ※目標値: 毎年度前年度以上	成果実績	機関	-	-	-	-	
				目標値	機関	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学・研究機関に対する調査(令和5年度より実施予定)								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		プログラム受講者数の拡大に伴い、受講生が実施機関外でも活躍し始めることで、本事業において開発された研究者育成プログラム等が全国に普及し、利活用する機関が増加する。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		実施機関・連携機関の機関も含め、本事業において開発された研究者育成プログラムを利活用する大学・研究機関が全国に拡大する。	本事業において開発された研究者育成プログラムを利活用する大学・研究機関が毎年増加する。	成果実績	機関	-	-	-	-	
				目標値	機関	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学・研究機関に対する調査(令和5年度より実施予定)								
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		プログラムを利活用する機関が全国に拡大することで優秀で生産性の高い研究者が輩出され、世界で活躍する。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		研究者育成プログラムを通じて多様な場で活躍するための資質能力を備えた生産性の高い研究者が世界で活躍する。	本事業において研究者育成プログラムを利活用する大学・研究機関において海外との共同研究件数が毎年増加する。	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		大学・研究機関に対する調査(令和5年度より実施予定)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								



令和2年度	文部科学省			0199																
令和3年度	2021	文科	20	0212		2021	文科	20	0213											
令和4年度	2022	文科	21	0213																



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業実施費	事業を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	46				
人件費	業務担当職員の人件費	35				
計		81	計			

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	「有札率」「有札券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人京都大学	3130005005532	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	81	補助金等交付	-	-	
2	国立研究開発法人科学技術振興機構	4030005012570	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	75	補助金等交付	-	-	
3	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学	3180005006071	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	62	補助金等交付	-	-	
4	国立大学法人筑波大学	5050005005266	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	55	補助金等交付	-	-	
5	国立大学法人広島大学	1240005004054	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	54	補助金等交付	-	-	
6	国立大学法人東北大学	7370005002147	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	53	補助金等交付	-	-	
7	国立大学法人山口大学	9250005001134	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	10	補助金等交付	-	-	
8	国立大学法人徳島大学	4480005002568	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	9	補助金等交付	-	-	
9	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学	3180005006071	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	8	補助金等交付	-	-	
10	国立大学法人茨城大学	5050005001769	世界で活躍できる研究者育成に向けたプログラムを開発し、組織的な研究者育成システムを構築し、優れた研究者の戦略的育成を推進する。	7	補助金等交付	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	